

会 議 録

会議名	平成25年度第3回市史編さん委員会議	
事務局	教育委員会生涯学習課	
開催日時	平成26年2月18日(月) 午前10時～11時15分	
開催場所	本町暫定庁舎第一会議室	
出席者	委員	出席(根岸委員長・井上副委員長・牛米委員・中嶋委員・林委員・井上委員・上原委員・山本委員)
		欠席 なし
	事務局	天野課長・倉澤主任・伊藤主事
傍聴の可否	◎可・不可・一部可	
	傍聴者：なし	
不可の理由		
<h3 style="margin: 0;">会 議 次 第</h3>		
<p>報 告</p> <p>1 市史編さん委員の就任について</p>		
<p>議 事</p> <p>1 『小金井市史資料編 近代』の発行について</p> <p>2 部会の活動報告について</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 近代部会の活動について</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 現代部会の活動について</p> <p>3 『小金井市史編纂資料第53編 下小金井村大久保家文書(近世編)』の発行について</p> <p>4 平成26年度の事業計画について</p> <p>5 次回の委員会の日程について</p>		
<p>【配布資料】</p> <p>(1) 第3期市史編さん委員名簿</p> <p>(2) 「小金井市史資料編近代」目次</p> <p>(3) 現代部会の作業状況</p>		

会 議 内 容

(根岸委員長) 第3回市史編さん委員会を開催する。

報告 市史編さん委員の就任について

(事務局：天野) 1月6日付けで、津幡道夫前教育長に代り、山本修司教育長が市史編さん委員会条例に基づき、新委員に就任したので、報告する。

(山本委員) 挨拶 (省略)

議題1 『小金井市史 資料編 近代』の発行について

(事務局：伊藤) 近代部会での編集作業が終り、現在、印刷事務を行っている。目次と詳細資料目次を資料として添付した。8章立て、資料総数455点で、頁数はおよそ930頁になる見込み。

(根岸委員長) 報告について、よろしいか。意見等なければ、部会の活動報告をお願いしたい。

議題2 部会の活動について

【近代部会】

(牛米委員) 現在、ほぼ原稿がまとまり、印刷に入る段階。今後は校正作業になる。構成は、8章立て、明治維新から昭和12年の町制施行までの資料を入れている。章立ては、時代割りになっている。節は、1行政、2産業、3教育、4社会に分け、資料を入れている。大正期の武蔵小金井駅の開設等については、特別の節を設けている。産業関係や大正・昭和期の行政資料が少ない。今回新たにいくつか資料が見つかり、小金井学園の資料を2点載せた。前回の『小金井市誌Ⅲ 資料編』には明治10年代位までしか載せていないので、今回の資料集は、それ以降の資料を選んで載せている。

(根岸委員長) 近代部会の活動報告に対して意見・質問等があるか。

(中嶋委員) 新聞記事が多いが、それだけでよろしいか。

(牛米委員) 昭和年代は新聞記事位しかなかった。特に8章では、産業・社会に新聞記事を使った。

(中嶋委員) 近代の行政文書は、議会の会議録位か。

(牛米委員) 市保管文書・議事録・事務報告書があり、それらを使った。

(山本委員) 学校にも、古いアルバム等の資料があるが、調査したのか。

(牛米委員) 学校日誌や小金井小学校の沿革史等があることは承知している。

(根岸委員長) 資料名の表記について、表題が先か、年代が先か。

(牛米委員) 表題の体裁については、既刊の小金井桜編に準じた。

(井上委員) 女性関係の資料は掲載されているのか。

(牛米委員) 女性史として特筆できる資料はないが、松平女学校関係資料を掲載し

た。

(山本委員) 外国人が小金井に来て残した旅行記はあるか。

(牛米委員) 今のところ、外国人が小金井に来たという記録や資料はない。

(根岸委員) 外国人が小金井に花見に来た記録はあるか。

(事務局伊藤) 花見関係は調べたが記録はない。明治期に外国人が写した写真もない。小金井桜の絵葉書は外国でも使われているので、小金井が知られていたことは確かだ。

(牛米委員) 「昭午会」(昭和5年設立)と呼ばれた団体がある。この団体は、新しく小金井に移って来た人と古くから地元にいる住人との親睦団体で、様々な人々がいる。多摩地域では、都内から移ってきた人々によって地域が変わっていくといわれているが、これまで具体的な資料はなかった。名簿には、個人の趣味まで書いてあるが、活動の実態がわからない。また、昭午会が発行した満州の郷土兵に慰問袋に入れて送った小金井村のパフレットがある。この時期、目玉にしてよい団体だと考えているので、活動の実態を知りたい。知っている人がいれば教えて欲しい。

(林委員) 戦前に小金井に移ってきたが、移住者は、明治生まれの地元の人達に受け入れられない雰囲気があった。

(牛米委員) 千葉県印旛沼周辺も、別荘地になり、白樺派の人々が移って来て、ジャーナリストが村長と交わって地元で活動をしている。地元でも新住民と交わって、地元を変えていこうとする動きがあった。小金井でもそういう動きあったのではないか。

(林委員) 小金井に移って来た人は、ハケの周辺に住んだようだ。

(牛米委員) 今後、昭午会の人々や、活動の実態について調査を進めていきたい。

(根岸委員) 俳句や漢詩といった文芸活動はあったか。

(牛米委員) 文芸活動に関する資料はまだ見つかっていない。近隣の自治体でも、政治家や有名人は別にして、一般の人々の活動実態が分からないようだ。そうした意味でも貴重な資料と考えている。

(山本委員) 町田市では自由民権運動が盛んであり、あきる野市でも五日市憲法といった自由民権関係資料があるが、小金井市ではどうか。

(牛米委員) 小金井では、自由民権運動に関する直接的な資料は出てきていない。運動に関わった人はいるが、小金井で活動した記録が出てこない。今回は地元の資料を中心に選んでいる。小金井の大久保善左衛門、渋谷安斎も民権運動に関わっているが、少し毛色が違う。今後、地元との関わりを調べてみたい。小金井は、立川(砂川)・三鷹(吉野)といった北多摩グループに属する、政治運動というより実業重視の運動だった。東京府移管を希望する団体であった。南多摩の自由党民権グループとは違う。大久保善左衛門は自由党系で、地元とは違った活動をしていたようだが、実態はわからない。

(根岸委員) 北多摩の自由民権運動は南多摩とは違う。北多摩地域の実業を重視す

る特徴を示す資料集となっているともいえる。

現代部会の活動について

(中嶋委員) 調査員4人で運営しているが、1人が辞任することになった。補充をお願いしたい。毎月1回部会を開催している。現在、担当別に資料調査を継続中。文書倉庫で行政文書を見たが、かなり膨大な量があるものの、古い文書は、文書管理規定によって、永年保存以外はかなり廃棄されてしまっている。中では二枚橋衛生組合の文書はまとまっており、今後、調査の必要がある。市内の病院・企業・学校等の悉皆調査は進んでいない。今後の課題としたい。現代部会のテーマは「都市化と市民参加」とし、資料を年代順に配列する。構成はまだ確定していないが、問題別に章立てしたい。

最近、『小平市史』が発行されたので、小金井市史をまとめるための参考資料として読んだ。評価する点は、政治史ではなく、「市民の暮らし」とそれを支える仕組みを中心に記述している点。地域や地縁によって支えられる仕組みから二次的の市民団体によって支えられる仕組みに転化するととらえた点。現代史を開発から福祉への転換とみる、以上3点である。小金井の現代史の大枠は小平市と同じだが、小金井市の独自性も考えなくてはならない。小平市は、ブリジストンのように地域に経済的効果を生んだ大工場の進出があったが、小金井には大企業の進出はなく、財政的裏付けのない小金井市の場合、問題の解決はより困難で、市民間で生じた問題を含め、「都市化」と「市民参加」を軸にとらえ、問題解決に向けた苦闘を描きたい。ただ、市民間で生じた問題は、公平に記述しなければならない。また、新聞記事や会議録も豊富にあるが、どのように使うかは今後の課題である。(根岸委員) 現代部会の報告に意見はあるか。

(上原委員) 市長が、今年の市政方針として「平和の日」の制定を提唱し、先日の市民と語る「ふれあいトーク」では、「戦争と平和」が課題となり、平和の日を制定したいと述べた。武蔵野市でもすでに平和の日が制定されており、小金井市に相応しい平和の日を制定したいと考えている。ふれあいトークでは、小金井に空襲があったという体験談があった。平和の日の制定には、史実的にどうかということが問題となるので、小金井の空襲被害の日時がわかれば聞きたい。

(中嶋委員) 武蔵野市の空襲の記録はみたことがあるが、小金井市にも小規模な空襲はあったと思うので、今後、調査してみたい。空襲のあった日を平和の日とするのか

(上原委員) 空襲の日も選択の一つとして考えたい。確定できなければ、別の方向から定めることになる。

(根岸委員長) 空襲で死者が出たという事実はあるか。

(事務局伊藤) これまでの聞き取り調査では、爆弾が落とされた事実は何度かあったが、死者はなかったと聞いている。また、野川の周辺で戦闘機による機銃掃射があったと聞いているが、死者はなかったようだ。

(林委員) 米軍機による機銃掃射は子供の頃に体験している。自宅の物置の柱に2発当たったが、玉は見つからなかった。日時については記憶にない。他にも機銃掃射はあったと思う。

(上原委員) 新たな事実が分かれば教えて欲しい。

(山本委員) 次第に戦争の記憶が薄れていくようだが、資料集には戦争の体験談等も載せるのか。

(事務局伊藤) 聞き取り調査も行っているが、具体的な資料としては、戦地からの手紙(軍事郵便)がある。また、召集令状を配布した記録「動員日誌」、戦没者名簿等も残っている。また、皆木日記や、富永三郎さんの著書『失われた季節』(角川新書)も戦争時代の記録であり、使える資料は提供していきたい。

(山本委員) 小金井第一中学校の古いアルバムに、皇太子殿下(天皇陛下)の小金井時代の写真を見たことがある。学校の資料も調査する必要があるのではないか。

(事務局伊藤) 学校所蔵のアルバムや「学校日誌」については、以前に複写をしており、提供したい。

(根岸委員長) 学校の資料は、今後も収集をお願いしたい。

(井上委員) PTAと学校給食、教科書採択の関係についても、調べて欲しい。

(中嶋委員) PTAについては、使える資料がある。更に、図書館や学校で調査していきたい。

(山本委員) 新聞資料は、朝日・読売・小金井新聞だけでは足りないのでは。

(中嶋委員) 毎日新聞等もあるが、人員と時間との関係で、悉皆調査は困難である。問題を発見するために主要な新聞と市報を見ている。

(山本委員) 新聞記事データの検索が可能ではないのか。

(中嶋委員) 1989年以降は、図書館に主要新聞の小金井関係記事がまとまっているので、それで調べている。前の時代の記事は、マイクロフィルムで見ている。電子版のデータベースは、全国版だけで、多摩版はデータベースになっていないので、小金井で検索しても記事は少ない。

(山本委員) 立川市にある都立多摩図書館では、雑誌の収集が充実している。雑誌に掲載された小金井の記事もあるのではないか。

(中嶋委員) 小金井で出された雑誌を探すのが重要。

(小野委員) 広報秘書課では、毎日、小金井関係記事を切り抜いて庁内に回覧し、保存をしているので、活用できる。

議題3 小金井市史編さん資料第53編の印刷について

(事務局伊藤) 今年度発行の『小金井市史第53編 下小金井村大久保家文書』(近世編)については、根岸委員長に委託して筆写した原稿を、事務局で原本校正し、現在、印刷中である。370頁、A4版、200冊である。

議題4 平成26年度の事業計画について

(事務局 伊藤) 別紙、年次計画のとおり。26年度は、現代部会と近世部会が資料編編さんに向けて本格的な活動に入る。近代部会は、今後、通史編に向けて部会活動を行うことにしている。予算については、市議会に上程中であり、来年度の第1回市史編さん委員会で詳細を説明する。

議題5 次回の委員会の日程について

平成26年5月26日(月) 午前10時～12時

以 上